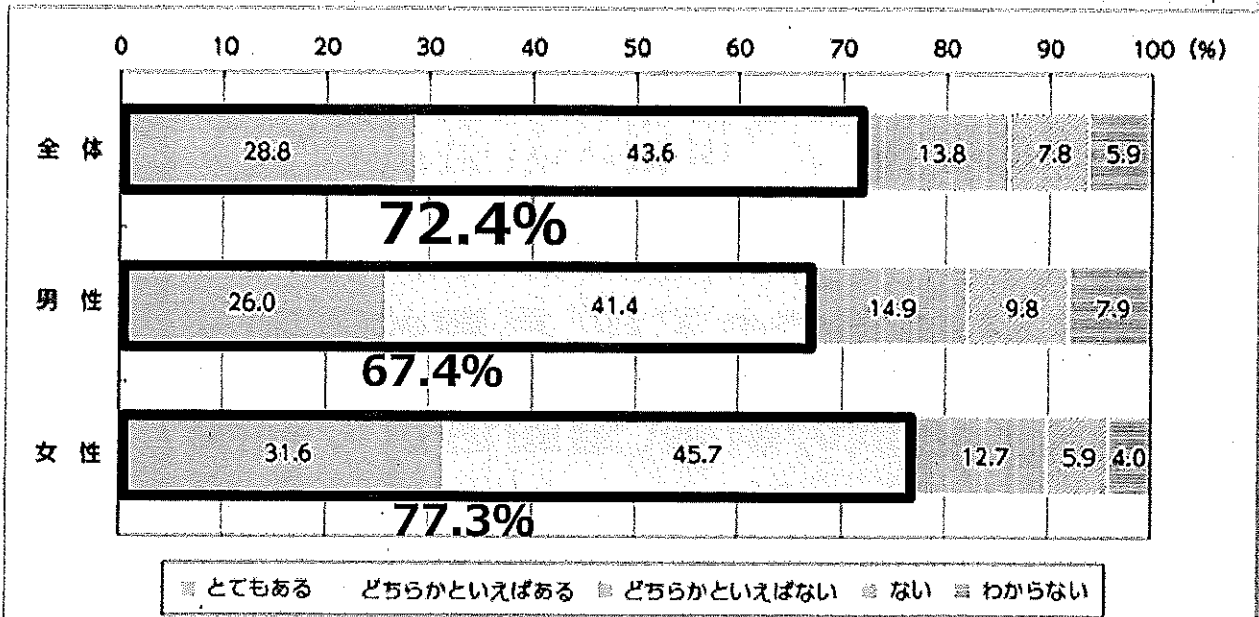


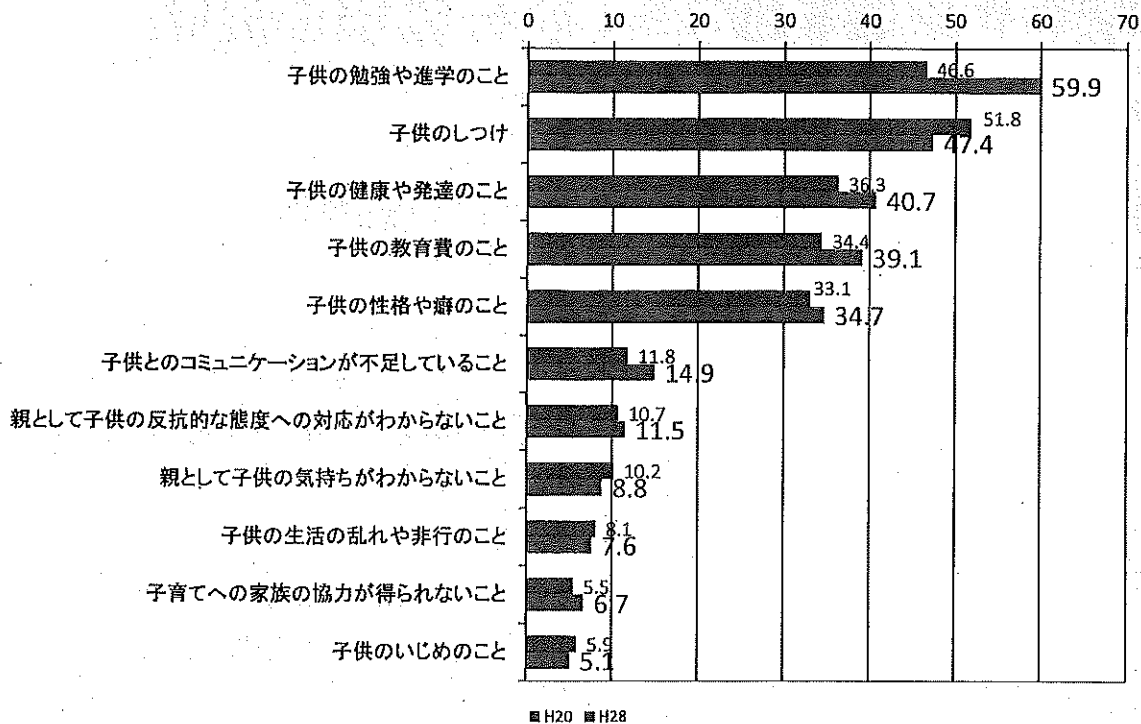
# 子育ての負担・不安感

## 子育てをしていて負担・不安に思う人の割合



資料：厚生労働省政策統括官付政策評価官室委託「人口減少社会に関する意識調査」(2015年)  
 (注) 0歳～15歳の子どもがいる人を対象に質問

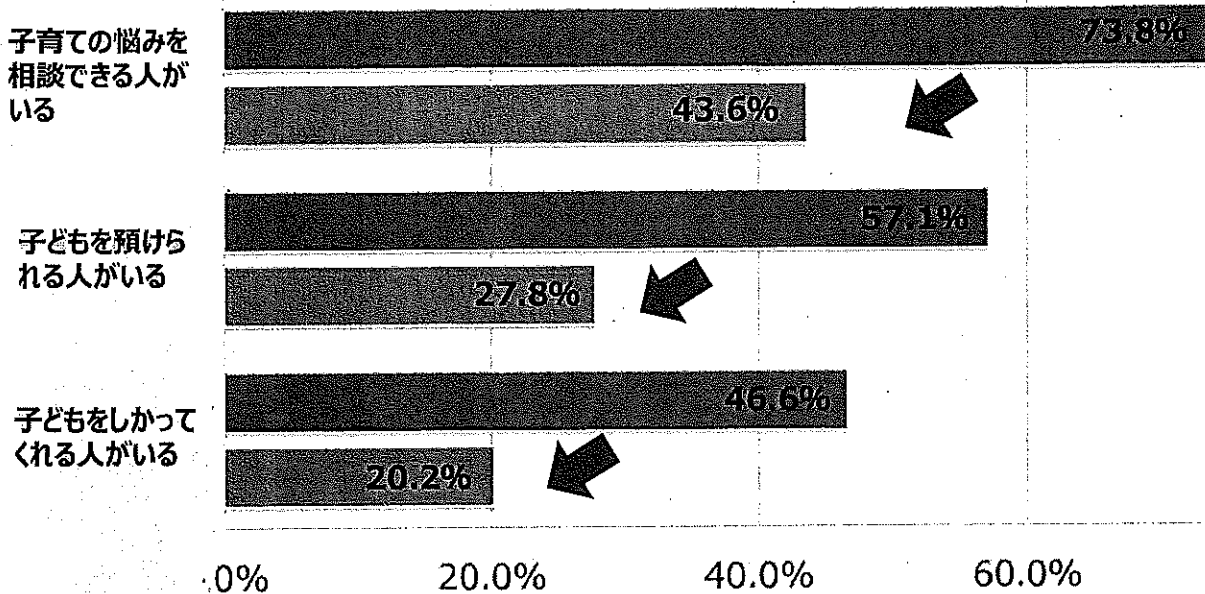
# 子育てについての主な悩みや不安



平成28年度「家庭教育の総合的推進に関する調査研究」(文部科学省)

# 家庭教育をめぐる状況 (地域におけるつながりの希薄化)

## 地域の中での子どもを通じた付き合い



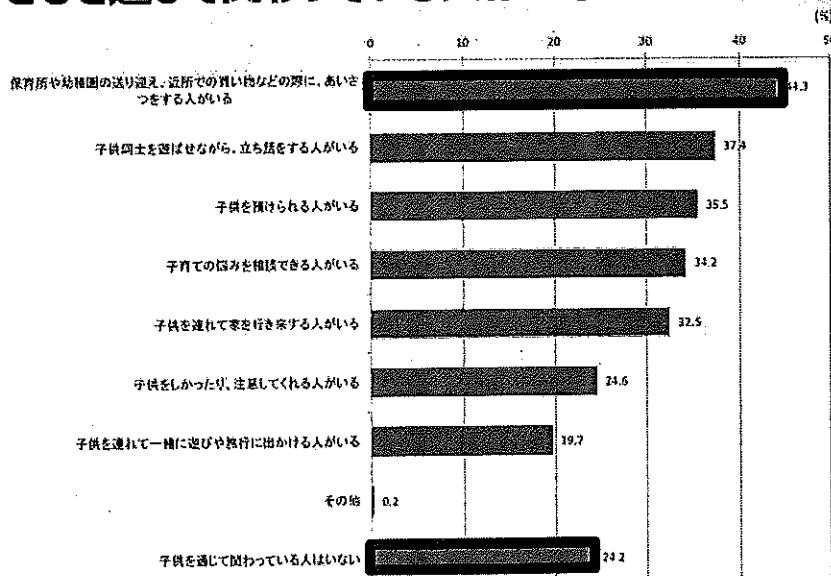
■ 平成14年度 (母親)    ■ 平成26年度 (母親)  
 (株) U F J 総合研究所「子育て支援策等に関する調査研究」(厚生労働省委託) (平成14年)  
 三菱 U F J リサーチ & コンサルティング「子育て支援施策等に関する調査2014」(平成26年)

# 地域におけるつながりの希薄化

## 地域の中での子どもを通じた付き合い

保育所や幼稚園の送り迎え、近所での買い物などの際に、あいさつをする人がいる **44.3%**

子どもを通じて関わっている人はいない **24.2%**



平成28年度「家庭教育の総合的推進に関する調査研究 ～家庭教育支援充実のための実態等把握調査研究～」(文部科学省委託調査)

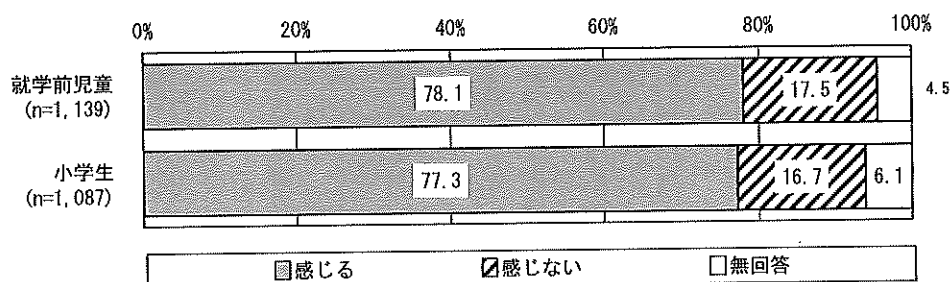
#### (4) 地域での子育て支援に対する実感の有無 [就学前児童…問47、小学生…問35]

子育てが地域の人や社会に支えられていると感じる割合は、就学前児童の保護者が78.1%、小学生の保護者が77.3%となっている。

それが誰から支えられていると感じるのかについては、就学前児童、小学生とも「同じ世代の子どもを持つ保護者」(就学前69.6%、小学生80.2%)が最も多く、特に小学生の保護者の割合が高い。これに次いで就学前児童の保護者では、「幼稚園や保育所、認定こども園、地域子育て支援拠点などの職員」(56.8%)が、小学生の保護者では「近所の人」(51.9%)がそれぞれ多くなっている。

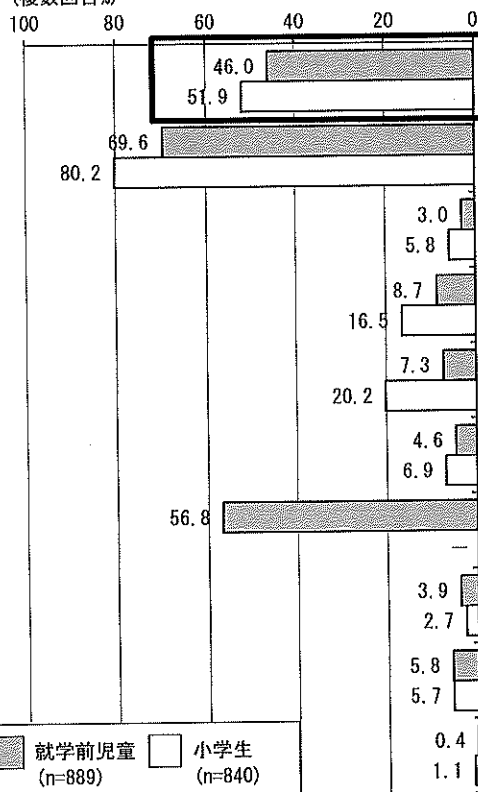
一方、子育てが地域の人や社会に支えられていないと感じない割合は、就学前児童が17.5%、小学生の保護者が16.7%となっており、そのような回答をした保護者が特に誰から支えてほしいのかについては、就学前児童では「幼稚園や保育所、認定こども園、地域子育て支援拠点などの職員」(36.2%)、「同じ世代の子どもを持つ保護者」(31.2%)が多く、小学生では「同じ世代の子どもを持つ保護者」(34.8%)が多い。また、小学生では「地域活動を行っているNPOなどの人」(15.5%)の割合が就学前児童に比べ高い。

□自身の子育てが、地域の人や社会に支えられていると感じますか。



□特に支えられていると感じる人

(複数回答%)



□特に支えてほしい人

(複数回答%)

